

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	空き家、遊休農地の利用等地域資源を生かした限界集落からの脱却
対象地域	静岡県島田市川根町笹間地区
対象地域の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【位置図】</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【空き家の増加】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【耕作茶園と荒廃茶園】</p> </div> </div>
提案内容の概要	<p>地域の魅力情報を伝える空き家をモデルにした田舎暮らしの社会実験、地域の体験活動拠点としての未利用旧中学校等施設の効果的な運営や体験内容の検討。それらを支える食メニューの掘り起こし、提供等を行うとともに、コミュニティ組織の拡充、人的資源のリストアップと体験プログラムの作成、近隣地域との広域的連携を強化し、地域の魅力アップと交流人口の増加、就労の場の確保を図る</p>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<p>昨年度本事業で実施した、地区住民・地区出身者を対象としたアンケート調査の結果から参加意欲のある人たちが参加・協力できる具体的な活動内容の検討が必要である。</p> <p>そのため、田舎体験としての受け皿となる空き家は2次調査15件のうち1件の所有者が貸す意向を示しているので社会実験が可能となり、受け入れの課題やさまざまな体験のプログラムの試行が可能である。</p> <p>また、田舎体験を支える指導者的な地元の達人のリストアップと活動内容が必要である。</p> <p>さらに、伝統的な「食」の開発課題については、昨年、地元主婦など竹飯試行で参加者全員が満足したことに自信を持ち、河原おじやなど伝統的な食への試作への取り組み意欲がでてきたため、食の商品化を視野にいれた取り組みが必要となった。</p> <p>笹間地区だけでは体験型交流人口、情報提供への対応が不足するため、近隣の関連施設（やまゆり、ヤマメの里、山の家、さくら茶屋、大井川鉄道、笹間温泉）との連携や隣接都市の中山間でつながる地域等との連携を図ることが必要である。</p>

(2) 活動内容の案	活動① : 空き家をモデルにした、田舎暮らし体験等の社会実験
	内容 : 空き家をモデル的に借り上げ、リフォーム体験、田舎暮らし体験を行うと共に、お茶会や田舎料理の伝承や開発の場として利用し、農山村の良さを実感させ、空き家等地域資源の利用を促進する。
	活動② : 廃校となり、未利用の中学校の利用促進
	内容 : 廃校となった旧中学校が未利用になっているので、「アートコミュニティセンター（仮称）」等としての利用計画を策定、市へ提言し、さらに専門家を招いて陶芸教室や絵画教室等を実施し、有効利用を図ると共に体験の場として定着させる。
	活動③ : 田舎の伝統的「食」の掘り起こしと、それらをベースにした商品開発
	内容 : 各農家に伝えられている、伝統的な「食」が忘れ去られようとしている。高齢者等の協力を得て、試作・レシピの作成等を行い、試作・試食、商品化を行う。
	活動④ : 「ささまの達人（仮称）」のリストアップと体験プログラムの作成と後継者の育成
	内容 : 地域に伝わる匠の技を持った人々を「ささまの達人」としてリストアップし、体験プログラムとともにパンフレットを作成し、その活動の場づくりや体験ツアー等を行う。
活動⑤ : 近隣地域との広域的連携	
内容 : 近隣の中山間地域でまちづくりに取り組んでいるグループ等と広域連携による、体験ツアーの実施、情報交換、交流を推進する。	
応募団体名	特定非営利法人 森づくりS川根・NPO
リンク	<a href="http://www.sasama-npo.jp/">http://www.sasama-npo.jp/</a>
部局／担当者名	理事 北島 亨
連絡先	(0547) 54-0015
推薦市町村名	静岡県島田市